

【新型コロナ】モントリオール等での最大警戒レベル適用期間の延長

10月26日（月）17時、ルソー州首相はモントリオール等における最大警戒レベルを**11月23日（月）まで延長**する旨発表しました。発表のポイントは次のとおりです。

【対象地域】

モントリオール、ラバル、モンテレジ、Capitale Nationale 等これまでの「赤」地域。
(地域別警戒レベル地図↓)

<https://www.quebec.ca/sante/problemes-de-sante/a-z/coronavirus-2019/systeme-alertes-regionales-et-intervention-graduelle/cartes-paliers-alerte-covid-19-par-region/>

【延長期間】

10月29日（木）～11月23日（月）

(※ 他方、今後2週間後に状況を再評価し、規制措置を緩和する可能性もある。)

【新たな追加措置】

11月2日（月）から、中等教育の3年生でも対面とオンラインの隔日授業を実施。

(その他の発言)

- ・過去数週間、一日当たりの感染者数は約800人から1000人で安定。平坦域に達している。
- ・長期介護施設の状況も制御できている。(今春の第1波に比べCHSLDの感染数はマイナス85%)
- ・しかし、一日1000人の感染者数を今後減らす必要がある。学校と企業活動の継続を最優先。
- ・企業による規制の順守を図るため、ケベック州当局（CNESS）が個別の「電撃検査」も行う。

以上